

第74回全日本女子ホッケー選手権大会

第3日

開催日時 11月24日(日) 会場

親里ホッケー場

天候 晴れ

**ソニーHC、コカ・コーラWRS、全勝の1位で、
グラクソ・スミスクライン、南都銀行も2位で準決勝進出**

【試合結果】

<A組>

グラクソ・スミスクライン Orange United	6	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	聖泉大学
勝点6 2勝1敗				勝点0 3敗

<A組>

コカ・コーラウエスト レッドスパーク	9	$\begin{pmatrix} 4-0 \\ 5-1 \end{pmatrix}$	1	山梨学院大学
勝点9 3勝				勝点3 1勝2敗

<B組>

南都銀行 SHOOTING STARS	1	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	立命館大学
勝点4 1勝1敗1敗				勝点1 1分2敗

<B組>

ソニーHC BRAVIA Ladies	3	$\begin{pmatrix} 2-1 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	1	天理大学
勝点9 3勝				勝点3 1勝2敗

< A組 >

グラクソ・スミスクリン Orange United	6	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	聖泉大学 勝点 0 3敗
勝点 6 2勝1敗		PC 0 シュート 0		
	20		0	
	11		0	

得点	GSK→ 7分片峯、20分若柳、35分山中、40分伴田、48分遠藤、67分土井
戦評	GSKのセンターパスにより試合が開始された。開始早々からGSKは聖泉陣内で猛攻を仕掛ける。GSKは7分にPCを獲得。FB#3伴田のスィープパスをFW#8片峯がタッチシュートでゴール右下に決め先制する。GSKは20分にもPCを獲得。FW#10若柳がヒットシュートを決め2-0とする。なお、GSKはゲームを優位に進め35分にもPCを獲得。FB#4山中がフリックシュートをゴール左中段に決め、3-0で前半を折り返す。 後半もGSKは立ち上がりから猛攻を続け、40分にPCを獲得。FB#3伴田のスィープシュートがゴール右下に決め。その後も48・67分と立て続けに得点し、圧倒的な差をみせつけ、6-0でGSKが勝利し勝点6と伸ばした。

テクニカルオフィサー	我妻活美	アンパイア	山田恵美
ジャッジ	荻谷和代		安岡裕美子

< A組 >

コカ・コーラウエスト レッドスパークス	9	$\begin{pmatrix} 4-0 \\ 5-1 \end{pmatrix}$	1	山梨学院大学 勝点 3 1勝2敗
勝点 9 3勝		PC 2 シュート 7		
	5		2	
	14		7	

得点	コカ→9分新井、23分加藤、25分新井、32分三橋、36分新井、42分西村、47分李、57分金、59分新井 山梨 →66分松瀬
戦評	コカのセンターパスにより試合が開始された。序盤からコカが激しい猛攻を仕掛ける。そして、9分にFB#2朴のパスを受けたFW#9新井がドリブルでサークル内に突入しヒットシュートをゴール左下に決め先制する。コカは23分にPCを獲得。FB#18李のフリックシュートを山梨GK#3勝部がセーブするもののDFのクリアミスでコカのFW#13加藤が見逃さず押し込み2-0とする。直後の25分にもFW#16金のパスを受けたFW#9新井がダイレクトでゴール左下に決め3-0と突き放す。山梨は26分にPCを獲得するが得点を奪うことが出来ない。さらにコカは32分1点を追加し前半を4-0で折り返す。 後半もコカの猛攻は続き、結局、新井の4得点の大活躍で9-1の大勝、コカはA組1位で準決勝進出を決める。

テクニカルオフィサー	我妻活美	アンパイア	壽山由樹
ジャッジ	荻谷和代		児玉茂樹

< B組 >

南都銀行 SHOOTING STARS 勝点 4 1勝1分1敗	1	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	立命館大学 勝点 1 1分2敗
	0	PC	2	
	3	シュート	2	

得点	南都→ 2分鹿取
	立命→ 13分ー谷麻
戦評	<p>立命のセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々2分、南都はFW#9野村からのセンタリングをFW#4鹿取が飛び込みながらのタッチシュートをゴール右上に決める。このまま南都がゲームを支配するかと思われたが、今日の立命は粘りをみせた。13分にPCを獲得。FB#5ー谷麻がヒットシュートをゴール左下に決め1ー1の同点とする。負けない南都は果敢に攻撃を仕掛けるが、立命のDFも堅い守備をみせ、1ー1の同点のまま前半を折り返す。</p> <p>後半は立ち上がりから両チームとも激しい攻防を仕掛ける。1点が欲しい両チームはチャンスをつくるもののシュートまでいくことが出来ずお互いに苦しい時間が続く。南都は63分にカウンターからMF#10大塚が攻め込むが得点することが出来ない。直後、立命はチャンスをつくるが、南都の堅い守備に阻まれる。そのまま試合終了。1ー1の引き分けとなる。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	根岸郁美
ジャッジ	中野典子		亀田和美

< B組 >

ソニーHC BRAVIA Ladies 勝点 9 3勝	3	$\begin{pmatrix} 2-1 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	1	天理大学 勝点 3 1勝2敗
	6	PC	1	
	15	シュート	3	

得点	ソニー→ 20分OG、24分OG、60分小沢
	天理→ 31分早戸沙
戦評	<p>ソニーのセンターパスにより試合が開始された。ソニーは立ち上がりから天理陣内で猛攻を仕掛ける。天理はSW#10牛尾を中心に守備を堅め、ソニーの攻撃をしのぐ。ソニーは20分にFB#2林が強烈なパスをFWに繋ぐと天理DFのレシーブミス誘いOGで先制。24分にもFB#2林の打ち込んだボールは天理DFの足に当たりGKの頭上を越えゴールイン。これもOGとなり2ー0。追いつきたい天理は31分にPCを獲得。FB#3早戸沙がスイープシュートをゴール右下に決め1点差とする。その後は両チーム得点を奪えないまま前半を2ー1と折り返す。</p> <p>後半開始早々ソニーはPCを獲得するが得点することが出来ない。対する天理もカウンター反撃からMF#11伊藤がドリブルでかわしシュートを放つもゴール右外に外れる。その後ソニーは天理陣内でゲームを進め60分にFW#7徳島のパスをサークル内で受けたFW#15小沢がプッシュシュートでゴール左下に決め3ー1と突き放す。追いつきたい天理は必死の反撃を狙うもソニーの堅い守備に阻まれそのまま試合終了3ー1でソニーが勝利し、B組1位で準決勝進出を決める。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	相馬知恵子
ジャッジ	中野典子		山口千恵美

【予選最終順位】

<A組>

1位	コカ・コーラウエスト	レッドスパークス	勝点9	3勝
2位	グラクソ・スミスクライン	Orange United	勝点6	2勝1敗
3位	山梨学院大学		勝点3	1勝2敗
4位	聖泉大学		勝点0	3敗

<B組>

1位	ソニーHC	BRAVIA Ladies	勝点9	3勝
2位	南都銀行	SHOOTING STARS	勝点4	1勝1分1敗
3位	天理大学		勝点3	1勝2敗
4位	立命館大学		勝点1	1分2敗

※1・2位は準決勝進出

※12月14日の試合日程は以下の通りです。

第74回全日本女子ホッケー選手権大会

第4日 : 12月14日(土) 会場: 親里ホッケー場

【準決勝】

B組1位 A組2位
11:00 ソニーHC vs G S K

A組1位 B組2位
13:00 コカ・コーラW vs 南都銀行

以上